

インフラ維持管理・老朽化対策総合展

社会インフラテック

会場：東京ビッグサイト

主催：インフラメンテナンス国民会議、日本経済新聞社

2019年12月4日(水)～6日(金)
10:00-17:00



出展レポート

社会インフラテック
東京ビッグサイト 2019年 12月4～6日

いつも大変お世話になっております。
栃木事業所の岡本です。



今回、12/4～12/6に東京ビッグサイトで行われた『社会インフラテック2019』という老朽化が進む社会インフラの戦略的維持管理をテーマとした展示会へ出展いたしました。

弊社も「ボルトナット防錆キャップ まもるくん」「水膨張不織布」をはじめとした、インフラの長寿命化に寄与する製品を展示いたしました。多数の方にブースに足を運んで頂き、中には「まもるくんの実物を見たくて展示会に来たんだよねー」と言ってくれる方もいて大変うれしく思ったと同時に、インフラの長寿命化におけるボルトナットの防錆防食に対する意識の高さを感じました。説明する中で、想定していなかった場所での用途などのご質問などを頂き「まもるくん」の使用範囲の広さに驚きました。同時開催していた「エコプロ2019」からも訪問して頂き、異業種からの視点での話も聞くことができました。

今回、展示会に出展しインフラの維持管理の重要性を再確認するとともに、今後どのような製品の開発をしていけば良いかのヒントをいただきました。これからも皆様のお役に立てるような製品開発を開発していきたいと思っておりますので、ご相談などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

本年も宜しくお願い致します。



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第49号
2020年1月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6673-3505

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439
TEL:090-3268-1039 FAX:028-333-1169

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



2020.1 Vol.49



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka

謹んで初春の
お慶びを
申し上げます

新年あけましておめでとうございます。共和ゴムの寺阪です。皆様方には昨年は大変お世話になりました。本当に感謝しております。

昨年は本当にあっという間に終わった感じです。本当に凄く動きが速くて目まぐるしい1年間でした！毎年思うのですが、本当に「1年間」がとても短く感じております。こんな感じで、あっという間に歳をとってしまうのだらうと危惧しております。人生の目的・目標、そして「使命」を強く意識しながら、仕事にしっかりと励んで、1度きりの人生を悔いなく生き抜きたいと思っております。特に最近「使命」について、自問自答することが増えました。「使命」とは言葉通り「命の使い方」という意味です。今年で49歳となり、やっと人生の折り返しとなってきました。自分自身の存在意義は？、自分には何ができるのか？、社会にどんな貢献できるのか？など、本当に色々考えるようになってきました。しっかりと「使命」を果たしたいと強く思うようになってきました。また自分の強み（S）、弱み（W）、そして自分自身にとっての機会（O）、脅威（T）を、常々意識し、自分自身のSWOT分析をしています。自分の長所を活かし、チャンス（機会）を確実に掴みたいと虎視眈々と窺っております（笑）

嫁さんの占いによると、あと3年間はまだまだ怒涛（激動）の運命が続くとのこと…（笑）ただ経営者としては時間に余裕があり暇なほうが圧倒的に怖いので、「怒涛・激動=超忙

しい」ほうが、ありがたいことだと前向きに捉えております。お陰様で弊社も多様な人材がかなり増えてきました。多様な人材が集まってくれたことを本当に感謝しております。みんなそれぞれ得意分野が違っておりますが、従業員の長所を理解して、適材適所で、その能力を発揮してもらう体制が徐々に出来上がってきていると感じております。新しいことにチャレンジすることが大好きな僕の無茶な指示・命令にも、嫌がることなく、迅速に行動し、素晴らしい結果を出してくれる従業員が多くなってきました。本当に感謝しております。従業員みんなのトレーニング(?)のためにも、僕の無茶ぶりは今年もガンガンやっというかと心掛けております（笑）

世間では人手不足が叫ばれてるなか、昨年度だけでも24名（正社員8名、パート従業員16名）も採用でき従業員数も80名を超えました。2004年に、創業者である父親から経営を引き継いだ時は全従業員で15名ほどでした。来年も20名（正社員8名、パート従業員12名）ほど採用する予定ですので、いよいよ従業員数100名に近づきつつあります。経営者として僕よりも経験豊富な諸先輩方の方々とお話をしていると、「従業員数100名」「年商100億円」になった時が、会社経営が一番辛くてしんどかったとお聞きすることがたくさんありました。小規模でやっていた中小企業経営も、従業員数が100名となると、ヒト（人事総務など）の問題、固定費の増大、仕事の割り振り、自部署ファーストからくる他部署との連携不足からの軋轢？、今までの社屋・工場が急に手狭になる、などの問題が一気に出てくるのだと思います。当然、メーカーなら在庫が増えたり、その他経費も増えたりで増加運転資金も増えてくるので、「勘定合って銭足らず」という現象がより酷くなっていくのだらうと思っております。

ずっと「従業員数100名」になることを怖がってましたが、いよいよ目前となってきました。もう逃げることはできそうにありません。来年は今までにない「覚悟」を持って会社経営に臨む所存です。また今年は絶対に心掛けたい事があります！「従業員数100名」と所帯は大きくなりましたが、中小企業DNAである「スピード」と「チャレンジ精神」は決して衰えることなく、逆に今までよりも更にUPさせることができるように心掛けてやっというつもりです！確かに2004年時と比べれば規模は大

旧年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願ひ申し上げます
令和二年 元旦 



きくなりましたが、所詮はまだまだ中小企業です。たかが「従業員数100名」くらいで大企業病になるようでは会社は倒産すると思います。よって今年はマンネリ化を防ぐためにも、今までのやり方を大きく見直し、色々社内改革を断行します。

そして皆様のご期待とニーズにしっかりと応えられるように従業員一同しっかりと誠心誠意頑張っていく所存ですので、今年もどうか何卒宜しくお願い致します。